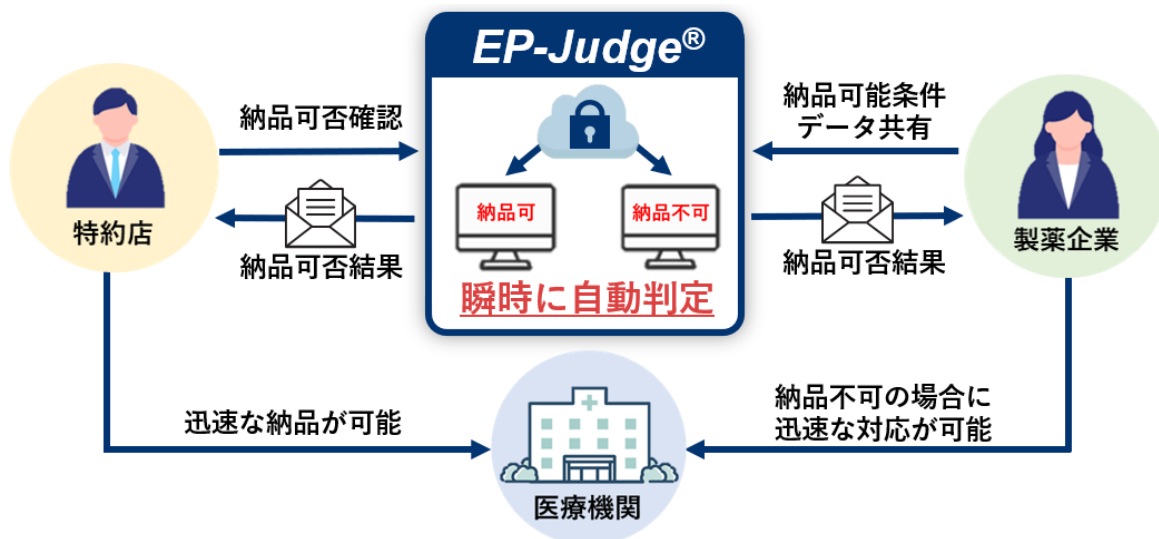


**Web システム型流通管理サービス「EP-Judge®」導入率、
日本医薬品卸売業連合会 加盟企業内で 95%超に
医薬品流通管理の DX 化で業務効率化とコストの最適化を実現**

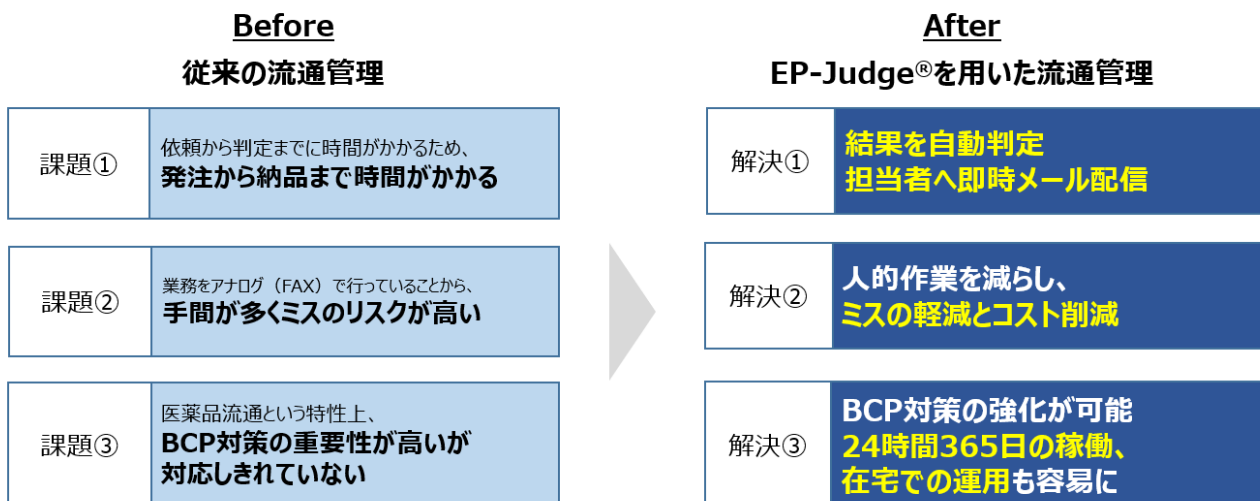
株式会社 EPNextS（本社：東京都新宿区、代表取締役：長岡 達磨、以下「EPNextS」）の子会社である株式会社 EP ファーマライン（所在地：東京都豊島区、代表取締役 池田佳奈美 以下「EPL」）が提供する Web システム型流通管理サービス「EP-Judge®」の導入率が日本医薬品卸売連 加盟企業の内、医療用医薬品取り扱い卸において 95%を突破しました。

一部の医薬品はその承認条件として、流通上の制限が設けられており、医療機関から発注を受けた医薬品卸（特約店）は、製薬企業に納品可否の確認を行った上で、医療機関への納品が可能になります。その際、製薬企業では、主に FAX 等を用いた確認業務を行っております。

本サービスは、医薬品卸（特約店）、製薬企業の流通管理担当や MR が直接、情報を入力し、納品可否状況を確認できる Web システムとなっております。この度導入率*1が 95%を超えたことにより、全国の医療機関へ流通制限がかかった医薬品の迅速な納品を実現しました。



*1 日本医薬品卸売連 加盟企業の内、医療用医薬品取り扱い卸における導入率



◆ 「EP-Judge®」の詳細はこちら

https://www.eppharmaline.co.jp/bis_eji.php

【お客様の反響】

サービス提供から1年を経て、多数の企業に導入を開始しております。実際にご利用頂いている医薬品卸（特約店）からも「納品可否結果がすぐに出るため、業務効率化が進んだ」「Web上で確認できるため紙の管理が不要になり、社内でも情報連携しやすくなった」など好評を頂いております。

【今後の展開】

EPLのような医薬・医療業界に特化した総合BPO企業だからこそ、医薬品卸・製薬企業等の垣根を越えた最適なプラットフォームを構築・推進できたと考えています。

EPLは、これからも本システムに留まらず、さまざまなBPO業務における革新的なソリューション開発に努めながら、保有するサービスの展開を通して、医療業界のDX化と健康・医療産業のさらなる発展に貢献してまいります。

■株式会社EPファーマラインについて (<https://www.eppharmaline.co.jp/>)

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名：株式会社EPファーマライン
 部署：事業企画推進本部 事業企画推進部
 TEL：0120-861-664
 E-Mail：epl@eppharmaline.co.jp

別紙

【EP-Judge[®] 開発の背景】

デジタルトランスフォーメーション（DX）が加速する中、多くの企業が業務や提供サービスのデジタル化に取り組んでいます。医療業界でも、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、さまざまな業務で急速にデジタル化が進んでおります。

しかしながら、医薬品の流通管理業務に関しては、これまでの慣習から、長らくアナログな手法を用いた人的業務での対応が続いており、以下のような点が課題とされてきました。

◆従来型の流通管理業務の課題

1) 発注から納品までのタイムラグ

情報を確実に手元で確認するという点から、医薬品卸（特約店）と流通管理担当のやりとりには主に FAX が用いられてきました。そのため、数多くの人的作業が発生することとなり、各関係者への連絡にタイムラグが生じていました。結果として、特約店の納品可否確認依頼から判定結果の連絡までに一定以上の時間を要し、医療機関の発注から納品までのタイムラグが生じていました。

2) アナログ業務によるリスク

製薬企業や卸各社で異なるフォーマットを用い、時に手書きでの情報が届くため、記載不備等の人的ミス
のリスクがありました。ミス軽減のために、情報のダブルチェックを行う等、対応が煩雑になりやすく、
流通管理担当にとっては大きな負担になっていました。

3) BCP 対応の難しさ

可能な限り稼働が求められる医薬品流通の特性上、24 時間 365 日の BCP 対応へのニーズは高いものの、
これも FAX というアナログ的な管理手法が障壁となり、土日や業務時間外の人員配置などで対応に苦慮
せざるを得ない状況でした。

医薬品流通管理サポートに注力し、多くの製薬企業から流通管理担当の業務を受託している EPL だから
こそ、こうした課題を解決し、医薬品流通の最適化・DX 化に貢献したいと考え、本サービス「EP-Judge[®]」
を開発しました。

【EP-Judge®の導入で流通管理業務はどう変わるのか】

1) 業務効率化により、時間を大幅に短縮

医薬品卸（特約店）、製薬企業 流通管理担当や MR がそれぞれ情報を直接入力できる Web システムとなっており、入力結果は、画面上で瞬時に自動判定できます。即時、必要な担当者へメールで共有されるため、判定保留の場合も素早いアクションが可能になります。

2) 人的ミスのリスク軽減とコストの削減

入力必須項目が分かりやすいように製剤ごとに入力制限をかけ、記載不備などの人的ミスによるタイムロス軽減。業務効率化により、リソースを削減し、低コストでの運用が可能になります。

3) BCP 対策の強化

業務量や業務場所に依存しないリソースの配置が可能となるため、24 時間 365 日の稼働ができ、在宅勤務での運用が容易になります。人的対応が難しい場合や、出社できない場合等、有事の際でも柔軟な体制で業務継続（再開）が可能になります。

こうした流通管理プロセスの効率化により、結果として、医療機関への納品までの時間短縮につながると考えます。

【会社概要】

会社名 : 株式会社 EP ファーマライン

代表者 : 代表取締役社長 池田佳奈美

所在地 : 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-27-12 池袋ウェストパークビル

TEL : 03-5979-8128

FAX : 03-5391-5730

URL : <https://www.eppharmaline.co.jp>

E-Mail : epl@eppharmaline.co.jp

事業内容 : DI サービス（コンタクトセンターサービス）・BPO サービス

マルチチャネルプロモーションサービス・医療機器サポートサービス

ヘルスケアサポートサービス